

総合工学委員会科学的知見の創出に資する可視化分科会
ICT時代の文理融合研究を創出する可視化小委員会（第24期・第1回）
議事要旨

- 日時：令和元年7月13日（土）11:00～11:50
- 場所：日本学術会議5階 5-A（1）会議室
- 出席者：
田中覚（立命館大）、小山田耕二（京大）、坂本尚久（神戸大）、畠中靖浩（富士通）、鹿内菜穂（亜細亜大）、李亮（立命館大）、安達基朗（シュルード設計）、北川千夏北（サイバネット）、尾上洋介（日大）、宮地英生（東京都市大）、長谷川恭子（立命館大）、藤代一成（慶應義塾大、オブザーバ）
- 配布資料：
 1. 会議開催通知
 2. 公開シンポジウム「科学的知見の創出に資する可視化（3）：「新しい文理融合研究を創出する可視化」の開催について〔案〕
 3. 情報処理学会人文科学とコンピュータ研究会 じんもんこんシンポジウム概要
 4. 立命館いばらきフューチャープラザ・カンファレンスホール写真
 5. 立命館いばらきフューチャープラザ・カンファレンスホール図面
 6. 立命館いばらきフューチャープラザ・イベントホール写真
 7. 立命館いばらきフューチャープラザ・イベントホール図面
- 議事
 1. 役員の決定について
 - ・ 役員の選出を行い、全会一致で以下の通り決定した
 - ・ 委員長：田中覚 委員
 - ・ 幹事：長谷川恭子 委員
 - ・ 幹事：鹿内菜穂 委員
 2. スポーツにおける可視化に関する検討（話題提供：富士通・畠中様）
 - ・ 畠中委員（富士通）より、スポーツに可視化技術を応用する富士通の試みについて紹介があった。
 - ・ 上記を受けての議論を通じて、文理融合研究としての可視化の対象として、スポーツ分野が有望な分野であるという共通認識が得られた
 3. 日本学術会議・公開シンポジウム「科学的知見の創出に資する可視化（第3回）」について
 - ・ 上記シンポジウムを令和元年12月に立命館大学・いばらきキャンパス（大

阪)で行うこととする。

- シンポジウムのテーマは「ビッグデータ時代の文理融合研究のための可視化」とする
 - 情報処理学会の人文社会とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2019」の併設イベントとして、同じ会場内で同時期に実施する。正確な日時は今後検討する。
4. 可視化の新パラダイム策定小委員会との連携について
- 可視化の新パラダイム策定小委員会の藤代一成委員長がオブザーバーとして参加された。
 - 今後も小委員会の交流を進めることで、藤代委員長と合意した。
5. その他
- 本分科会の議事要旨については、会議開催後にメールにより出席者がその内容を確認し、出席者全員が確認したことが明らかになった後、承認については委員長に一任とすることとした。

(以上)